

令和6年第5回松野町地域公共交通会議 協議概要

1 出席者

委員

八十島 温夫、岡 力、酒井 博司、岡村 勝、中脇 優、中湯 廣和、
須田 正文、村田 和宏、竹内 義富、長谷 信昭、大内 義昭、豊永 純一、
一色 利彦、菊池 勝二、二宮 祐司、谷口 健二、小倉 恭信、窪 仁志、
須山 広周、松村 鴨彦、森本 秀行、友岡 純

(欠席：田中 勝久、長谷川 喜之、松本 真一、高瀬 康文、瀧本 美樹)

(代理：酒井氏、桑山氏)

2 副会長の選任

- ・副会長は区長会長である岡村委員に就任いただく考えであるがよろしいか。
(事務局)
⇒意義なし(委員)
- ・今後、本会議の副会長は岡村委員とする。(事務局)

3 協議

(1) 協議第1号 松野町地域公共交通計画(案)について

松野町地域公共交通計画(案)について事務局より説明。

(主な意見等)

- ・「8.2.目標達成のための事業」の事業1について、利便性向上のため、JR松丸駅と道の駅「虹の森公園まつの」から整備を行うのは良いと思った。
次に、事業3の「鉄道のダイヤの検討・連携」として、周辺自治体と利用促進の取り組みを検討するとあるが、関連性がないように思える。また、新たな公共交通(デマンド交通等)の導入を検討するとしているが、どのような事業を導入しようと考えているのか教えていただきたい。
事業5のホームページ「等」を活用した情報の発信をするという記載があるが、ホームページの他に何を検討しているのか教えていただきたい。
事業6の「多言語標記」を「多言語表記」へ修正いただきたい。
事業8の地域住民が主体となった公共交通の取り組みの支援制度を構築するとあるが、「地域住民が主体となった公共交通の取り組み」とは、現在の規定の範囲内での検討を行うのか。(委員)
⇒事業1の主要結節点については、記載の2箇所をはじめとし、いずれその他の施設も整備する考えである。
事業3の事業内容の整合性について、ご指摘のとおり適切に変更する。また、新たな公共交通については、デマンド交通を含め、できるだけ多くの取り組みを視野に入れて検討する考えである。

事業5については、ホームページの他、チラシや広報誌などを考えている。

事業6の文言については、修正させていただく。

事業8については、新たな規定に限らず既存の事業も含め検討したいと考えている。(事務局)

- ・事業8については、他の自治体では、今年度の4月から、「ライドシェア」を開始することとしているため、実際の利用状況を踏まえて町にあった方法を検討できればと思う。(委員)

- ・全体的に「検討します。」という表現について、「強化する」や「実施します」といった文言にできないか見直していただきたい。(委員)

- ・事業3について、鉄道のダイヤ改正をする場合、各自治体と交渉を行う必要があり、取組の評価も大変であると考えられるため、事業としてはあまり推奨できない。自治体と連携した利用促進の取り組みについては問題ない。ダイヤのチラシの作成については、弊社では毎年ダイヤを改正しているため、その度に印刷するとコストがかかるため、ホームページに弊社のホームページのリンクを載せていただければと思う。

また、「8.3. 評価指標と目標値」にて鉄道の利用者数を1日平均としている理由はあるのか。(委員)

⇒いただいたデータをもとに1日平均の値を載せている。年平均のデータがあれば差し返させていただく。(事務局)

⇒1日平均利用者数(人)×365(日)を年平均としていただいても問題ない。

年平均乗降者数の場合は、年平均利用者数(人)の2倍である。(委員)

⇒年平均乗降者数を記載させていただく(事務局)

- ・事業内容は、松野町独自の内容となるようにしていただければと思う。

例えば、事業4のモビリティ・マネジメントについては、民生委員の方が住民一人一人を訪問されているので、その際に、目的地までの行き方について路線別に示した図を用いて話を伺うことで、1対1のモビリティ・マネジメントができると思う。

また、公共交通の利用については、通勤や通学での利用者が極めて重要であるため、例えば、次年度から高校生となる人を対象に公共交通を用いた通学方法の説明や、通学手当の規定を設けられればと思う。

事業5の町のホームページでの情報発信はあまり効果がないと思うので、各関係機関のリンクを張る程度でよい。

事業3の既存サービスの見直しをするということについてはよいと思った。

地域ごとの実情や、国土交通省や総務省からの情報を把握しながら取り組んでいただきたい。

また、アンケート結果より、町外の目的地が多くなっているため、公共交通を利用してもらうために、町外へ行けるよう整備するかどうか、検討した方がよい。

図22のコミュニティバスの路線図と、図23のコミュニティバスの路線別利

用者数のグラフの色を、路線ごとに合わせた方が良い。(委員)

⇒松野町独自のという点については、事業4の「①学校、転入者等に対するモビリティ・マネジメントの実施」を修正し、記載させていただく。(事務局)

- ・免許返納の支援事業については、バスの半額やタクシーの補助など自治体や支援事業者の負担になるものではなく、商工会を通じた支援事業など、町をあげて支援する姿勢を作っただけであればと思う。(委員)
- ・いただいた意見をもとに、計画を修正し、パブリックコメントを実施させていただく。また、パブリックコメントをする際に委員の方々へも作成した計画を提供させていただく。なお、計画策定は3月末を予定しているため、すべての意見の反映は確約できないことをご了承いただきたい。(事務局)

3 その他

- ・本会議を本年度最後の会議とし、次年度からは年2回ずつ開催させていただく。(事務局)